



毎年恒例のしめ飾り作り

12月4日 北石狩農協西当別支所

年の瀬を迎える12月、北石狩農協女性部西当別ブロック(佐藤照子ブロック長)が、しめ飾りを作りました。毎年恒例の事業として15年以上も継続して、神棚、和締め、玄関、ゴボーの4種類が制作されました。当初は各女性部員の家庭に飾るために制作していましたが、出来栄の良さから口コミで評判が広がり、一般の方、企業からも注文を受けるようになりました。佐藤ブロック長は、「何度も作っていますが、装飾のバランスを取るのが一番難しいですね。」と話していました。



ふくしのまちづくり勉強会

12月8日 ふれあい倉庫

「平成25年度当別町でのふくしのまちづくり勉強会」が開催されました。「『できない』を、『できる』に変える」をテーマに、全国で活躍している木村俊昭氏の講演が行われました。木村氏は「まちを元気にするために、情報を集め、共有したうえでいかに事業構想化できるかが重要。未来を担う子ども達が愛着心を持つよう地域全体で取り組むことが大切。」と語りました。

また、シンポジウムでは、地熱エネルギー、大学との連携、移住、福祉や産業に携わる4名が、コミュニティビジネスの可能性について語り合いました。



ビニールハウスであの野菜が

12月9日 当別太

本格的な冬本番を迎え、辺り一面は雪景色。そんな雪景色の中、当別太で農業を営む秋吉稔之さんのビニールハウスでは、ホワイトアスパラ、グリーンアスパラがすくすくと成長し、出荷の時期を迎えています。

秋吉さんは「夏場の露地物のアスパラと違い、時間と手間がかかります。室温管理が難しいですね。とても美味しいアスパラに成長してくれました。」と笑顔で話していました。

アスパラは、1月末まで収穫され、町内ではふれあい倉庫で購入することができます。